

目的

震災前の原風景を取り戻すにとどまらず、新たな魅力あるまちの再構築「新生ならはの創造」に取り組み、檜葉町のみならず双葉郡の復興を先導する拠点を形成するため、**檜葉町復興計画＜第二次＞に示された土地利用計画の具体化**を図り、町の将来の絵姿とその実現に向けた道筋を示す。

主な検討項目

- 将来人口予測と土地利用上の課題
- 今後の土地利用の方向性
- 基本方針・基本計画（機能、規模）
- 整備推進に向けた方策（工程、体制等）

対象エリア

- 竜田駅東側エリア
- コンパクトタウン
- 産業再生エリア

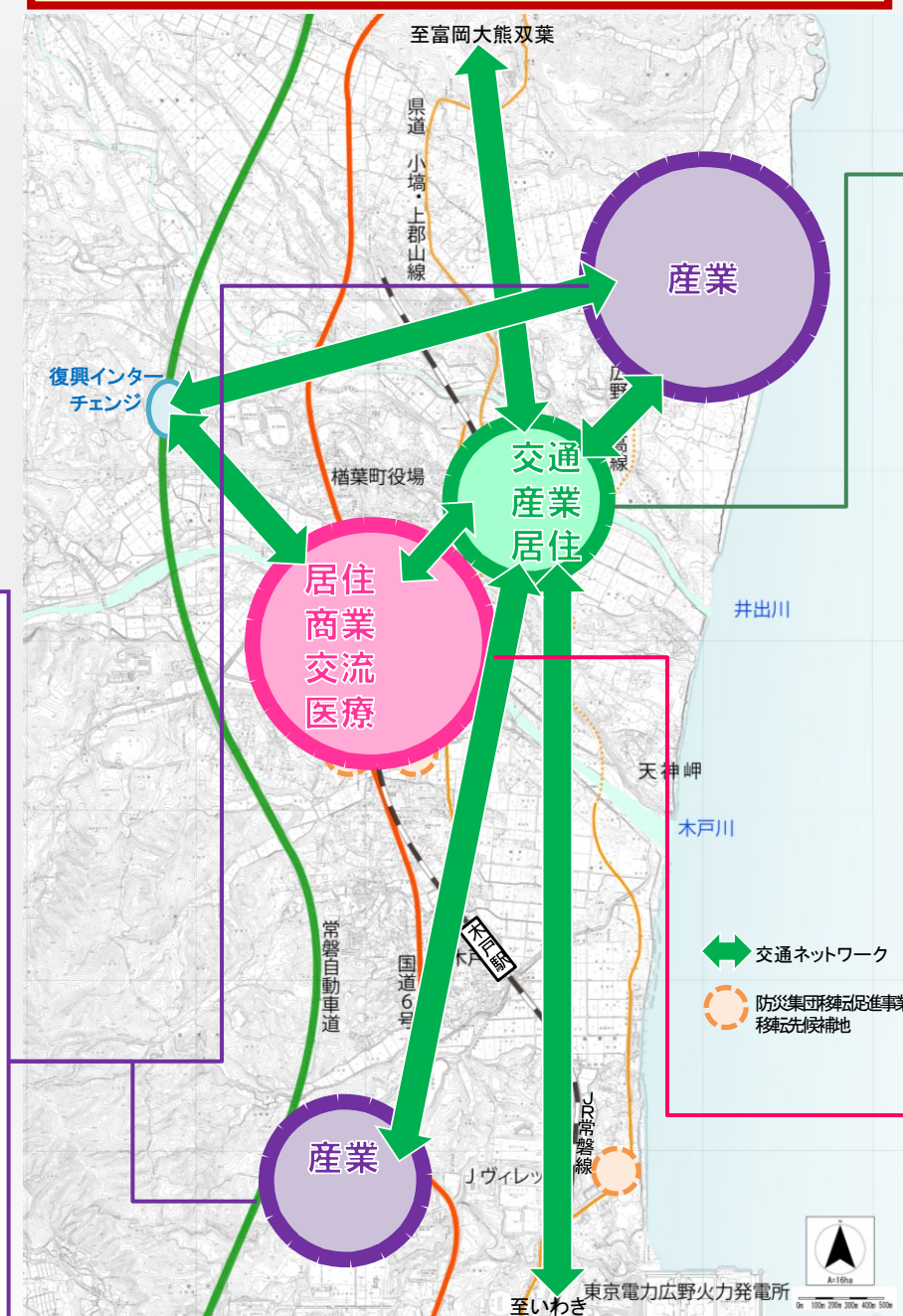
産業再生エリア（産業を支え産官学連携により発展する研究産業拠点）

- モックアップ施設等に関連した廃炉企業等の集積する工業団地の形成
- 産業と連携する研究・実証拠点の形成と見学・視察ツアーの推進
- 産業技術集積ゾーンと幹線道路を結ぶ道路ネットワークの構築



今後の土地利用の方向性

檜葉町及び双葉郡の復興を最前線で支える
“多様な人々が集う生活・産業・交流拠点”の形成
 ～町民、長期避難者、復興従事者、町外からの観光等来訪者等に『活力』と『明るい未来』を実感させるまちづくり～



※計画図等については、今後の検討状況により、変更する可能性があります。

竜田駅東側エリア（地域の活動における多様な機能の結節拠点）

- 事業所（事務所機能）エリアの形成
- 就業者・研究者のための居住・宿泊エリアの形成
- 円滑な移動をサポートする交通拠点の形成



コンパクトタウン（双葉郡と共に歩む檜葉町の復興拠点）

- 帰還町民・長期避難者・就業者・研究者のための居住・生活空間の形成
- 医療・福祉・商業・交流施設が集積した活力ある生活拠点の形成

